

環境マインド実践人材養成コース カリキュラム

本コースは全部で16単位です。メインとなる専用科目(6単位:必修)、認定科目として環境に関連する共通教育科目と各学部授業の中から10単位を選択必修とします。認定科目のうち、コア科目群から2単位以上(推奨4単位)を履修してください。さらに学内で開催される「環境内部監査員養成講習会」を必ず受講します。コース修了者には履修証明書が交付されます。



※所属学部カリキュラムとの関係により修了が3年次以降にずれ込むことも可とします。

Q 環境コースを受講するにはどうしたらいいですか？

1年次前期のうち、ガイダンス(不定期)に参加したり、コア科目群の講義やゼミの受講を検討してみましょう。環境コース受講には1年次後期の「環境マインド実践基礎論」がまず必修となり、履修時に環境コースに仮登録し、終了時に2年次の実践ゼミに進む場合は本登録します。

Q 環境コースは1~2年次で修了しないといけないのですか？

16単位を最短で2年次までに修了する構成となっていますが、所属学部のカリキュラムにあわせて修了が3年次以降にずれ込むことも可とします。ただし1年次後期の「環境マインド実践基礎論」は実践ゼミの前に受講して下さい。

Q 認定科目はどんなものがありますか？

環境コース紹介HP (<https://www.shinshu-u.ac.jp/environment/works/course.html>) に掲載しています。なお、各学部専門科目における環境コースの認定科目開講数は学部によって大きく異なりますので、事前に確認して計画的に履修してください。

Q 費用はかかりますか？

環境マインド実践ゼミⅡ(グローバル編)では渡航費、宿泊費等で15~20万程度かかる見込みです。このほか実習等の参加費は自己負担です。計画的に準備しましょう。

Q 受講には学部・学科の制限はありますか？

希望者であればどなたでも受講できます。文系も理系も垣根なく、環境分野に関心のある方の受講を歓迎します。

Q 1年次後期からのみ参加可能ですか？

希望者は2年生以上でも受講可能です。ただし、専用科目や認定科目の多くは松本キャンパスでの開講となるので注意してください。

環境コースの内容や履修方法について、詳しくは問い合わせ窓口にご相談して下さい。

信州大学環境マインド推進センター人材育成推進部門

お問い合わせ 共通教育窓口

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 共通教育第1講義棟南校舎1階
TEL: 0263-37-2862 FAX: 0263-37-2868
Mail: ecomind@shinshu-u.ac.jp



2023年3月発行

環境問題に取り組みたい信大生へ

持続可能な社会づくりのための
第一歩を踏み出そう！



環境マインド実践人材養成コース

Eco-Mind Program: Experience-Based Training for Environmental Competence



信州大学 全学横断特別教育プログラム

環境の切り口から 社会の課題解決の実践を考える

環境マインド実践人材養成コースの意義

環境に関する課題は、経済や社会とも密接に関わり、統合的な視点で考えていくことが求められています。
本コースでは、環境分野の幅広い課題の基礎知識を身につけ、持続可能な循環共生型の社会構築を意識して、特に国際社会の共通の目標であるSDGsや、課題解決の考え方を学びます。
学部に関係なく希望者が受講できるので、コース受講者同士の交流や協働も重視します。

目指す人物像

環境・経済・社会の統合的な視点を持つ

環境分野に関わる幅広い課題の基礎知識を持ち、経済や社会などと相互に関連・複雑化する現状に対して、持続可能性を重視した循環共生型の社会構築に向けた統合的な視点で課題解決に貢献できる人。

地域特性と地球規模の両方の考えを持つ

地域特性に応じた捉え方の重要性や日本という国の特色を良く理解した上で、地球規模の環境問題の観点でも、国際的な課題解決に必要な知識や考え方の基礎を持つ人。

多様な立場や価値観を理解し積極性・柔軟性を持つ

幅広い関係者との連携やパートナーシップを重視し、多様な立場や価値観を有する人々と前向きに課題を話し合い、合意形成による主体的な意思決定や人づくりに貢献できる積極性・柔軟性を備えている人。

専攻科目の紹介

(全体カリキュラムは裏面を参照)

メインとなる専攻科目(6単位:必修)は、1年次後期から2年次にかけて講義と集中ゼミを行います。実社会での環境分野の課題・取組内容を、企業や自治体などの実務者から直接学ぶ機会や実習・演習を含みます。

1年次後期 Step 1 ▶ 実務者から学ぶ!

環境マインド実践基礎論

2単位 | 必修

SDGsの理解、外部講師によるリレー講義、グループワーク

講義15コマ

実社会での「環境」分野の課題や取組内容について、企業や自治体、NPO団体などの様々な実務者から直接学ぶ機会を多く得られ、将来の実務的なイメージを考えるきっかけにもなります。

- 座学** ▶ 基礎知識の習得
- 外部講師のゲスト講義** ▶ 県庁/市町村/民間企業/NPO団体/国機関 等
- 「環境」への関心の発表演習** ▶ 将来的に「環境」にどのように関わりたいか?
- SDGsの概念や考え方の理解
- 様々なゴール内容に応じた外部講師の講義

環境マインド実践基礎論の内容

講義 | 15コマ

- ガイダンス
- 外部講師のゲスト講義



- キーワード(例)**
- 再生可能エネルギー | エネルギー地産地消
 - 気候変動、パリ協定 | 脱炭素社会
 - 地域循環共生圏 | 自立分散型社会の実現
 - 資源循環 | プラスチックごみ、食品ロス
 - 企業の環境施策 | ライフスタイル、エンカル消費
 - 大気・水・土壌環境 | 水環境と技術
 - 自然環境の保全と活用 | 国立公園、エコツーリズム
 - 環境と経済 | ESG投資

- 演習・発表 (3回程度) ▶ 自分の「環境」への関心について発表
- まとめ ▶ ゲスト講義の総括と次年度の実践ゼミへの展開

2年次前期 Step 2 ▶▶ 信州で学ぶ!

環境マインド実践ゼミI ローカル編

2単位 | 夏期集中: 必修

信州の素材で実施

事前学習(数回)及び県内現地学習3日間程度を予定



長野県内の環境のトピックを具体的に学ぶため、県内企業や自治体が実際に取り組む環境関連の取組や特色ある自然環境などから、実践的な課題演習や現地学習を行います。

- 事前学習** ▶ 「環境」に関わる仕事について企業や役所などにコンタクト・インタビュー
- 合同演習(合宿形式)** ▶ インタビュー内容を持ち寄り発表、身近な地域が抱える環境に関する課題についてディスカッション

- 信州の特徴や特色、それらを活かした取り組みについてまとめる
- 立場の異なる人とのコミュニケーションを通じて、多様な価値観を理解する

2年次後期 Step 3 ▶▶▶ グローバルで学ぶ!

環境マインド実践ゼミII グローバル編

2単位 | 春期集中: 必修

アジア圏などの素材で実施

事前学習(数回)及び海外現地学習7日間程度を予定



日本国内の環境の現状や課題は、国際社会での課題にもつながっています。海外での状況や日本とのつながりを学ぶことを重視し、現地での調査や実践演習に取り組みます。

- 事前学習** ▶ 訪問先の地域事情や自然環境に関する資料収集、社会調査の準備

- 海外実習** ▶ エネルギー関連施設、野生生物保護施設、国立公園などの視察、社会調査体験など

- 訪問先と日本との繋がりについて学び、国際的な環境問題を「自分ごと」として考える
- 環境問題の統合的な解決に向けた糸口を探る

信大の特色を活かした個別テーマ

環境と国際

日本と世界の課題のつながりを重視

私たちは、今や自分たちの身体を支える物質的条件を国際的な関係に依存しています。それらのモノはいったいどこから来て、どこへ行くのでしょうか。問題の現場と机上を往復しながら、統合的な解決に向けた糸口を探ります。

自然環境保全

長野の自然を生かした内容

長野県には上高地など日本を代表する風景地を擁する国立公園や、ライチョウなど希少な動植物が息づく素晴らしい自然環境があります。その保全や管理・利用の取組と人や地域のかかわりを、生物多様性保全の視点から学びます。

環境マネジメント

信大での環境マインド養成の蓄積を生かす

信州大学では、環境マインドの育成として、環境に優しいエコキャンパスの構築に向けた取り組みを長年行ってきました。この蓄積された信大独自の経験を生かし、持続可能な社会づくりに必要な知識と思考力を身につけます。

SDGsの17のゴールの視点を学ぶ

いま、国際的に国、自治体、企業などあらゆる主体が取り組む国連の目標SDGsには、環境の要素も多く含まれています。本コースでは、このSDGsの17のゴール(目標)の内容、特色や実社会での取組状況を理解し、複数の課題の統合的な解決や、一つの行動で複数の利益を生み出すマルチベネフィットの視点を意識した学びをつくっていきます。



SDGsとは...

2015年の国連持続可能な開発サミットで採択された「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。世界を変えるための2030年までの取組指針で、17のゴール(目標)について、環境・社会・経済の統合的アプローチが重視されている。